

YMfg

この世界で。この街で。このじぶん。

2024 VOL.08

from
北広島市
九州県
山口県

LOCAL
ISSUE

これからの、
いっつどい。
(Gather)

賑わいを生むつどい | 海を越えるつどい
SNS発のつどい | 二軒目、どこ行く？



わたしにはわたしの 陽のある場所。

あなたのその場所、いい場所ですね。
わたしと替わってもらえませんか？
そんなわけにはいかないですね。

陽のある人生を
歩きたいと思うけど。
じぶんが何者かさえも
まだわからなくて、お日様だって
陽のあてようがないでしょうか。

だけどもじぶんが何者かなんて、
最後までわからない気がする。
ただがんばりたいことを、
がんばれる場所で、
がんばりたい。

それはどこか？どこでしょう。
それを探すのが、
ここしばらくのわたしの仕事。

この世界で。
この街で。
このじぶん。

山口銀行 もみじ銀行 北九州銀行

YMfg

YMfgが思い描く「地域の豊かな未来」を共有するために、この街に存在する、あしたを託したい、あしたを照らしてほしい人や取り組みを紹介します。

三都で見つけた、
いいつどいをお届けします

[北九州] P06

賑わいを生むつどい
シャッター街のビフォーアフター「寿通り商店街」

[広島県] P12

海を越えるつどい
世界と地域の人を結ぶ「LLOVE HOUSE ONOMICHI」

[山口県] P18

SNS発のつどい
街の写真屋とSNS、繋がりの化学反応「#ヤマブリ」

二軒目、どこ行く？

- P11 北九州 | コスプレイヤーの2人
- P17 広島県 | 篠原テキスタイルとその仲間たち
- P23 山口県 | 山口大学洞穴研究会

P24 YMfgのあした考 第3回 [私のつどい]

連載

- P26 あしたのランチ何食べる?
- P27 わたしを変えた住空間
- P28 三都の雑貨物語
- P29 ラブレター from
- P30 YMfg あした新聞

PHOTO_福田喜一



COVER

上村英太郎 (かみむら・えいたろう)

2001年、山口県出身。2020年、香蘭ファッションデザイン専門学校入学。2023年、卒業制作として出品した作品が、第97回装苑賞において「装苑賞」と「NEW ENERGY 特別賞」のダブル受賞という快挙を果たす。現在は自身のブランド《EITARO》に力を注ぐ。



第97回装苑賞公開審査会(写真左から2人目)。

友人や後輩が刺激をくれる。
卒業してからも、
母校でつどっています

香蘭ファッションデザイン専門学校は、大切な友人と出会えた場所です。入学前は、医師を目指して進学校に通っていました。正直、学力には自信がありました。ここに入学してからは今までの自分が全く通用しなかったんです。コンテストを通過していく友人を横目に、「負けたくない」と思っていました。刺激を受けて、勉強を重ねて、考え尽くして、やっと手にしたのが「装苑賞」。卒業後はリメイクのアルバイトをしたり、ブランドを立ち上げたりするなかで、学校を作業場として使わせてもらっています。今、僕に刺激を与えてくれるのは、後輩たち。面白い考え方を持っている子が多くて、新しいライバルが出てきたなと感じます。(上村さん)

公式 Instagram の
コンテンツもご覧ください。



ローカルには都会には負けない仲間意識がある、と思いませんか。こんなことやったら、みんな面白がってくれるんじゃない? 街のみんなが困っているから、解決したい……。お互いの好きなことや街を想う気持ちが重なり合って、仲間になって、いつの間にか大きな何かを成し遂げていく。そんなつどいがあちこちで生まれています。今回の特集では、YMFGが応援したい、三都に芽生えた「いいつどい」をご紹介します。

(Gather)

これからの、いいつどい。

[北九州]

賑わいを生む
つどい

全ては さっちゃんから 始まった



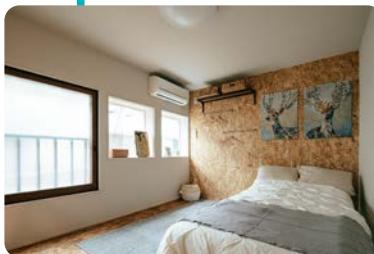
寿通り商店街の シャッターが開くまで

賑わいを取り戻したい！ 積み重ねてきた
スマールステップの軌跡を紹介する。

始まりは福岡佐知子さん、通称さっちゃんから。企画の立場で街の活性化イベントに携わっている時に、お客様が素朴に發した「誰が借りるの？」という問いかけに、「自分が入らなきゃ」と寿通り商店街に事務所を借りることに。

ちょっとずつ 陣地を広げる

福岡さんはオフィスの隣で、惣菜を提供するダイニング〈コトブキキッチン〉を始め、さらにその向かいに来店した人が寛げる〈コトブキリビング〉を開く。オセロをひっくり返すように、通りの中で少しづつ人がつどう場所を拡大していく。



街に住まいを戻そう！ 商店街の2階にシェアハウスも

〈寿百家店〉の2階は、メンバーとして参加している田村晟一朗さんの発案でシェアハウスに。「アーケードハウス」として、街づくりに関心がある人や若い世代が暮らす場所になっている。商店街に温かな灯りを取り戻す試みでもある。

関係人口を 増やそう！

福岡さんが開いた“オフィス兼ワインバー”〈TRANSIT〉は、街づくりに興味ある人、地域のユニークな人と会える場所になっていく。ボランティアとシャッターをカラフルに塗る「トム・ソーヤ大作戦」は、プロセスに参加してもらうことで、商店街を自分ごと捉えてもらうきっかけにもなった。



自分でやりたい人集まれ 〈寿百家店〉誕生！

2020年には商店街の一区画をフルリノベーションし、テナントが入居できる〈寿百家店〉をオープン。自分もこの場でなにかしたい！とショップを開いたり、作品を展示販売する人たちが集まってきた。小さな区画で自分らしさを發揮中。



商店街につどってきたのはどんな人？
次のページへ

BEFORE



シャッター街のビフォーアフター 寿通り商店街のつどいの秘密



AFTER

北九州市八幡西区黒崎。官営八幡製鐵所のお膝元として栄え、JR 黒崎駅を中心に多くの商店街が賑わってきた。ところが近年産業の変化や人口減少で、商店街にはシャッターが目立つよう。その中で、小さな「寿通り商店街」は賑わいを取り戻すべく奮闘中だ。

PHOTO_大塚淑子 TEXT&EDIT_浅野佳子

寿通り商店街に
つどう人々を直撃

福岡さんの熱に惹かれて、
寿通り商店街には人が集まり始めている。
みなさん、なぜここにいるの？

私たちのパワーが 商店街を変える！



コミュ力で
商店街を
盛り上げるぞ！



小畠海稀

軽食とお茶のお店 LMK



「起業したい」と福岡さんのところで
アルバイトを始め、2023年にこの店
をオープンした小畠さん。実は現役の
建築系大学院生でもある。お客様は
恋愛相談に訪れる高校生から、平
日に散歩がてら訪れるおじいさん、週
末の飲みの前に一軒目として立ち寄
る女性などさまざま。「人の顔が見え
る飲食店がいい」と、コミュニケーションを
大切に接客している。北九州各地に「しゃべる」がコンセプトの喫
茶店を展開するのが夢。

北九州市八幡西区熊手1-1-21
Instagram @let.me.know23



街は
本屋が必要。
本業があつても、
無人なら
できる！



田中正樹



2020年に駅前の百貨店が閉店し、
商店街から本屋が消滅。田中さんは危機感を感じ、本業の(ややこしい!)
飲食店の傍ら、本好きの仲間と一緒にこの店を始めた。メンバーおすすめの本を手書きの紹介文「bookband」とともに並べているのが特徴だ。基本、無人＆キャッシュレスで運営しているが、これまでトラブルはなく、いいお客様に恵まれているのが自慢。「さらにメンバーを増やして、本を充実させたい」と話してくれた。

北九州市八幡西区熊手1-1-20
寿百家店B-2
Instagram @bookbandbooks



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

福岡さんが立ち上げた商店街の中核
である店〈コトブキッチン〉を、現在引き
継いでいるのが藤田さん。「人の下では
働けないタイプだと思ったので、ここ
なら小さなことから始めて自分で事業
をしていけると感じた」と寿通り商店
街の価値を語る。「趣味として楽しん
でいた大好きな料理を、仕事にできる
場を見つけた」という調理担当の高山
さんとともに、美味しいワインと惣菜
で、訪れる人の舌を楽しませている。

北九州市八幡西区熊手1-1-30
Instagram @kotobukitchen

高山みゆき



福岡さんの
パワーに
惹かれて
やってきました。

下條康弘

SHIMONE verde



もともと福岡さんのカフェに足を運んでいて、面白い通りだと感じていた下條さん。2020年に店を構えていた駅前の百貨店が閉店したことをきっかけに、寿通り商店街にやってきた。「この土地にお客さんがいるので、できるだけ近くに出店したかったんです」。長年の顧客もこちらの店に通ってくれている。「通りそのものの雰囲気がいいので、さらに若い人や面白い人が集まってくれるといいですね」と将来の希望を語る。

北九州市八幡西区熊手1-1-31
Instagram @shimoneverde



趣味だった
料理が
仕事になる喜びを
感じています。

自分の人生は
自分で
コントロールしたい。
だから小さな店から
小さく始める。



寿キッチン

自分じゃない人格で
街を堪能できるのがサイコー



つどっている人たち

コスプレイヤーの2人

コウさん(左)、るびたそさん(右)
保育園から幼馴染の2人が、一緒にコスプレを楽しむように。この日、コウさんはスマホゲーム「あんさんぶるスターズ!!」の羽風薰、るびたそさんはVTuberグループ「にじさんじ」の羽ういはのコスプレ中。

つどっている店

あるあるCity

漫画やアニメ、ゲーム、アイドルなどポップカルチャーの情報発信拠点。サブカルチャーの専門店が多数入居し、イベントも盛ん。
福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-5 営: 11:00 - 20:00 休: 無休

二軒目、どこ行く？

この街で生きる人は、日々どんな場所でつどい、何を楽しんでいるのでしょうか？

「見る方」から「やる方」へ
踏み込んで楽しいコスプレライフ

美容師とトリマー、ふだんはそれぞれ違う仕事に就いているコウさんとるびたそさんは、いわゆる“オタク的”コンテンツが好きで、よく一緒にイベントに出かけていた。コスプレイヤーは憧れの対象だったが、ある時「一緒にやってみる?」という話になり、コスプレの世界へ。自分ではないキャラクターに変身するのは、「めちゃくちゃ楽しい」と声を合わせる。衣装はつくるのが好きな人に依頼したり、ネットで購入したり。Xを通じて知り合った人たちと日々情報交換しながら、次のイベントに向けて準備する。

るびたそさんは「自分が楽しくてコスプレしています。好きなキャラになりたい」。コウさんは「他の人に見てほしくてやってるかも。推しの隣にいるキャラのコスプレをすると、自然と推しに接近できる!」と、それぞれに動機がちょっと違うのも面白い。

好きなものを楽しむ人たちが集まる場所、あるあるCity

2人がやってきたのは、北九州駅近くにある〈あるあるCity〉。漫画やアニメ、ゲームなどサブカルチャーに関わる店がビル全体に入居していて、コスプレしたままカフェや居酒屋、ショッピングなどを楽しむことができる。2人はコスプレ専用スタジオ〈Under

Land〉で、さまざまなシチュエーションで撮影をしたのち、館内に繰り出した。ゲームセンターでクレーンゲームにチャレンジし、カラオケではこの日扱っていた2次元のアイドルグループの歌を熱唱。「コスプレしている時は、自分じゃないような気持ちで、この時間が心地いいんです」とるびたそさん。コウさんは「写真を撮っていいですか? と声をかけられると、うまくコスプレできてる! という自信になります」と話す。

この日の〈あるあるCity〉は、好きなキャラクターにコスプレした人や、お気に入りのグッズを身に着けた人で大賑わい。好きなものがある人たちが集まり自然と幸せなエネルギーに満ちていた。

CROSSTALK

商店街を自分ごとにすること

福岡一 田村くんとは、私の事務所兼ワインバーの〈TRANSIT〉に来てくれていた頃から、関係が深まつたよね。

田村一 街づくりに興味ある人もいれば、地域でバリバリ経営している人もいて。あそこに行くと面白い人に会えるという感覚がありました。

福岡一 〈コトブキツーリング〉をつくる時、田村くんは行橋市のアーケードハウスでフランスのデザイン賞を受賞したタイミングで。トキドキしながら「お願いできる?」と聞いたのを覚えてるよ。

田村一 僕も勢いあまって「頑張っている人からお金は取れない」なんて言っちゃって(笑)。インターの子や気心の知れた大工さんも巻き込んで、寿通り商店街らしさを出そうとプロジェクトを立ち上げました。ポイントは「外から中が見える」「木を多用して手触り感を大切にすること」。

福岡一 商店街全体を明るくしたいと「トムソン大作戦」でシャッターを明るく塗つたりも。だから、できるだけ多様な人にプロセスに参加してもらうことで街の当事者を増やせるかには番心を配つてきたかな。

福岡一 田村くんとは、私の事務所兼ワインバーの〈TRANSIT〉に来てくれていた頃から、関係が深まつたよね。

田村一 街づくりに興味ある人もいれば、地域でバリバリ経営している人もいて。あそこに行くと面白い人に会えるという感覚がありました。

福岡一 〈コトブキツーリング〉をつくる時、田村くんは行橋市のアーケードハウスでフランスのデザイン賞を受賞したタイミングで。トキドキながら「お願いできる?」と聞いたのを覚えているよ。

田村一 僕も勢いあまって「頑張っている人からお金は取れない」なんて言っちゃって(笑)。インターの子や気心の知れた大工さんも巻き込んで、寿通り商店街らしさを出そうとプロジェクトを立ち上げました。ポイントは「外から中が見える」「木を多用して手触り感を大切にすること」。

福岡一 商店街全体を明るくしたいと「トムソン大作戦」でシャッターを明るく塗つたりも。だから、できるだけ多様な人にプロセスに参加してもらうことで街の当事者を増やせるかには番心を配つてきたかな。

福岡一 たまたま面白いことができそうな予感はあった。僕自身は商店街の2階に住まいをつくる「アーケードハウス」の可能性を感じていたので、寿通り商店街にも実装できたのがよかった。街にひと氣を戻すことが大事だと考えているので。

福岡一 とにかく商店街も建築も人が使い続

けることで、タッチポイントを増やすことが鍵。

そのためには、たとえ商店街であっても商売だけが接点じゃなくていいと思う。「住む」ものも

の可能性だし、これからますます「発表する」「イベントする」など多様な方法で接点をこじ開けたい。

田村一 いま関わってくれる人たちは「自分たちはどんな価値を提供できるか」「これから何を得られるか」に自覺的な人たちが多いのは、すごくいいことだよね。これからもチャレンジングな人たちと出会いたいね。

街に血液を巡らせるために

福岡一 〈寿百家店〉の計画以来、北九州銀行の田中さんにはとてもお世話をっています。

田村一 融資してくれるとこは、将来を見込まれることだからやっぱり「がんばらない」と

福岡一 田中さんに事業概況を伝えるという行為そのものが、自分たちのやつていることを言語化する貴重な機会です。お金のためにやつているわけじゃないけど、お金がないと血液が足りないみたいに、街から活気が失われちゃう。

田村一 その血液を使って、街をいいきさせるのが、僕たちの役割なんだろうね。

街と人とのタッチポイントを増やす

福岡一 〈寿百家店〉を立ち上げたのは、2020年(井筒屋)の閉店が大きかった。街の中

心的な存在だった百貨店が失われて「これからどうして、こうか」と話し合ったタイミングだつたよね。

田村一 ただ面白いことができそうな予感はあつた。僕自身は商店街の2階に住まいをつくる「アーケードハウス」の可能性を感じていたので、寿通り商店街にも実装できたのがよかった。街にひと氣を戻すことが大事だと考えているので。

福岡一 とにかく商店街も建築も人が使い続

けることで、タッチポイントを増やすことが鍵。

そのためには、たとえ商店街であっても商売だけが接点じゃなくていいと思う。「住む」ものも

の可能性だし、これからますます「発表する」「イベントする」など多様な方法で接点をこじ開けたい。

田村一 いま関わってくれる人たちは「自分たちはどんな価値を提供できるか」「これから何を得られるか」に自覺的な人たちが多いのは、すごくいいことだよね。これからもチャレンジングな人たちと出会いたいね。

街に血液を巡らせるために

福岡一 〈寿百家店〉の計画以来、北九州銀行の田中さんはとてもお世話をっています。

田村一 融資してくれるとこは、将来を見込まれることだからやっぱり「がんばらない」と

福岡一 田中さんに事業概況を伝えるという行為そのものが、自分たちのやつていることを言語化する貴重な機会です。お金のためにやつているわけじゃないけど、お金がないと血液が足りないみたいに、街から活気が失われちゃう。

田村一 その血液を使って、街をいいきさせるのが、僕たちの役割なんだろうね。

キーパーソンが語る
寿通り商店街のこれまでとこれから

寿通り商店街のあり方を考え実践してきた2人に、この街ならではの価値、未来予想を聞いた。

株式会社三角形
代表取締役

福岡佐知子さん

株式会社三角形、株式会社寿百家店代表取締役。福岡県行橋市出身。公立文化施設やアートNPOでの企画広報等のマネージメントを経て、2012年寿通り商店街に出会う。

どうコミュニケーションを生み出すか、
それが私の使命。

活用されていないものが活きた時に
街のポテンシャルが爆発!

tamtam DESIGN

代表取締役

田村晟一朗さん

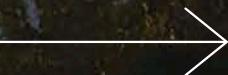
一級建築士。古民家や空きビルのリノベーションで「リノベーション・オブ・ザ・イヤー」総合グランプリを史上初の3回受賞。株式会社寿百家店発起人兼取締役。



尾道の古民家が 世界と地域の人を結ぶ 新たな活動拠点に

PHOTO_加藤孝司, Ryo Takatsuka TEXT_加藤孝司 EDIT_佐々木好

LLOVE
HOUSE
ONOMICHI



尾道の山手から世界につながる 地域性豊かな交流拠点

広島県尾道市。その中心市街地は尾道三山と対岸の島に囲まれ、北前船の寄港地として栄えた歴史を持つノスタルジックな港町。1200年以上前に創建された千光寺に向かう石畳の坂道の途中、擁壁の上に建つ築約110年の古民家に国内外のアーティストや文化人が滞在し、その作品や取り組みをハブに人々が集う国際的な文化交流拠点が誕生したのが2022年11月のこと。風光明媚な港町風情が物語を生み出し、箱庭的景色を染しめる観光地として根強い人気を誇る尾道だが、近年の少子高齢化による人口減少はこの街のあり方にも影響を及ぼしている。特に山手地区といわれる山側エリアは過疎化が進み空き家が目立つようになつた。だがここ数年、豊かな歴史を持ったこの街に魅了された人々が移住や起業を目的に集まり始め、尾道はその長い歴史のなかで新たなフェーズを歩み始める。そんな時、東京を拠点とする建築家、長坂常さんが出会つたのが文豪志賀直哉がかつて暮らした長屋に隣接する由緒ある歴史を持つこの家。その活用にあたり考えたのが国内外に拠点をおくアーティストや建築家といったクリエイターやこの家に滞在し、ここだけの美しい風景を味わい、地域の人々と生きた関係を築く場所。そのために旧知のオランダ人キュレータースサンヌオクセナールの協力も得た。家のような安らぎと親密な場所になることを願い「LLOVE HOUSE ONOMICHI」と名付けられ、小さな歩幅ながら着実にこの場所で動き始めた。街も家もそこで人が生活を営み活動することで呼吸をし始める。その実践はこの街とともにあゆむ次の世代への大きな架け橋になるだろう。



LLOVE HOUSE
ONOMICHI
広島県尾道市東土堂町8-28
TEL 080 1358 6309
クリエイターの滞在時期は要確認。
見学希望も要相談。

LLOVE HOUSE ONOMICHI ARCHIVES



この場所の存在がアーティストの創造力を刺激し、ここでしか生み出しえない作品が創作された。アーティストインレジデンス中は〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉とアーティストのインスタグラムにも滞在の様子と地域の人々との交流が投稿された。

NEXT 2024年10月末～11月初めにかけて、ドイツ人アーティストのオラフ・ホルツァブフェルが滞在予定。Instagram : @llovehouse_onomichi



「今年で2年目になります。私たちは管理人でありここに滞在するアーティストたちの隣人という立場で関わり、キュレーターである長坂とスザンヌが選んだアーティストや建築家が滞在するアーティストインレジデンスに伴う交流の場という立て付けで運営しています。スロースタートではありますが外部のキュレーターの方からもお声がけいただいたり、新しい企画も動き出しています」。この2年を振り返り中田さんはそう話す。

のびのびとした交流の時間

これまで縁もゆかりもなかつた場所での生活だったが尾道ならではの人付き合いの垣根のなさに日々助けられているといふ。

「瀬戸内海の穏やかな気候風土がそうさせのが、尾道の方々は年齢関係なく助け合いの精神があつて朗らか。移住当初から私たちのような新参者にも気兼ねなく声をかけてくださつたり距離感も心

地よくつてすごいなあと思っています」
マイのレジデンスに加え、「昨年には島根の奥出雲でコミニティにまつわる活動を展開してきたオランダ人アーティストが急遽滞在し展示を行つた。その際には噂を聞いた尾道の人たちが人伝えに〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉についた。

「地元の先生が生徒を連れてきてくれた不思議なうどいの場が生まれました。田舎と都市のあいだという尾道の利便性の良さもうな新参者にも気兼ねなく声をかけてくださつたり距離感も心

い路地。迷路のように曲がりくねつた道が山の頂まで不規則に続く。不便さと隣り合わせの地形だからこそ大きな開発から守られてきた山手アリア。しかし、住人の高齢化が進み空き家も増えた。さらに建築法規的に一度取り壊すと建て替えが困難なアリアということもあり、この街と歴史ある建物を残したいと思う思いを持つ人が関わらない限り今ある山手の景色は残つていかないのも事実。

「昔からお住まいの方と触れ合い、多様な時間軸を持つた建物に囲まれて暮らしていながらこの景観を守りたい」と思うと同時に難しさもひしひしと実感します。ただ実際にこの活動を通じて感じるのは、土地と人の関

**LLOVE HOUSE ONOMICHI
管理人
中田雅実さん
松井納都子さん**

スキーマ建築計画勤務後、2021年に建築デザイン事務所(studio basket)設立。2022年に尾道に移住し(〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉)のはなれに住みながら管理人としても従事している。

地元の学生やおじいさんおばあさんがふらっと来て、作家と会話をしたり一緒にお昼を食べたり。不思議な場所です。



世代を超えて世界の人々が唯一無二の関係性を育む場所

「ギャラリーにしてしまうと鑑賞だけの場になってしまいます。が、これが『LLOVE HOUSE』と『家』にしている理由は2つあります。家としてここを残すと共に長坂とスザンヌに縁がある人がつどいひととき過ごし、その人に会いに客人が訪ね、喋つて対話が自然にできる場所にしたかったから。そのためつくりていけばいいのか、少しずつ積み重ねていくところです」

今年は9月にオランダ人のキヤロライン・ネヴェン教授が滞在した。そのあとの企画も進行中だ。築約110年を超える古民家がその場所を大切に思つ誰かとの必然的な出会いによって、世界中の人が訪れる場所に生まれ変わる先例を私たちは(〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉)に見ることができます。だが、人と人が出会いいつどうきつかけは、何気なく過ごす日常のなかに生きつとある私たち尾道の山の上で時を超えて佇むこの家にそんな希望のようなものを見いだすことでき自分たちのよりよい未来を描くきっかけを得ることができるにちがいない。

尾道水道を見下ろす高台に生まれたアーティストインレジデンス

明治時代、この地の豪商が客人をもてなすために尾道水道を望む高台に建てた元茶園(せえん)には、オープンから約2年の間に長坂さんの友人であるスザンヌ・オクセナール、昨年秋にはオランダ人アーティスト、サンダ・ウツシンクが滞在しその総括として展示を開催。国内外のアーティストが宿泊しながら、訪れる人を迎える新しい国際交流のかたちとも、いえ場を生み出してきた。

この場所を管理するのが建築家の中田雅実さんと松井納都子さん。〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉のはなれで暮らしながら運営管理する。

「今年で2年目になります。私たちは管理人でありここに滞在するアーティストたちの隣人という立場で関わり、キュレーターである長坂とスザンヌが選んだアーティストや建築家が滞在するアーティストインレジデンスに伴う交流の場という立て付けで運営しています。スロースタートではありますが外部のキュレーターの方からもお声がけいただいたり、新しい企画も動き出しています」。この2年を振り返り中田さんはそう話す。

新しい国際交流のかたち

地よくつてすごいなあと思っています」

マイのレジデンスに加え、「昨年には島

ONOMICHI)についた。

「地元の先生が生徒を連れてきてくれた不思議なうどいの場が生まれました。田舎と都市のあいだという尾道の利便性の良さもうな新参者にも気兼ねなく声をかけてくださつたり距離感も心

い路地。迷路のように曲がりくねつた道が山の頂まで不規則に続く。不便さと隣り合わせの地形だからこそ大きな開発から守られてきた山手アリア。しかし、住人の高齢化が進み空き家も増えた。さらに建築法規的に一度取り壊すと建て替えが困難なアリアということもあり、この街と歴史ある建物を残したいと思う思いを持つ人が関わらない限り今ある山手の景色は残つていかないのも事実。

「昔からお住まいの方と触れ合い、多様な時間軸を持つた建物に囲まれて暮らしていながらこの景観を守りたい」と思うと同時に難しさもひしひしと実感します。ただ実際にこの活動を通じて感じるのは、土地と人の関

係によって築かれたものは決してなくならないといつも希望のようないます」

「ギャラリーにしてしまうと鑑賞だけの場になってしまいます。が、これが『LLOVE HOUSE』と『家』にしている理由は2つあります。家としてここを残すと共に長坂とスザンヌに縁がある人がつどいひととき過ごし、その人に会いに客人が訪ね、喋つて対話が自然にできる場所にしたかったから。そのためつくりていけばいいのか、少しずつ積み重ねていくところです」

今年は9月にオランダ人のキヤロライン・ネヴェン教授が滞在した。そのあとの企画も進行中だ。築約110年を超える古民家がその場所を大切に思つ誰かとの必然的な出会いによって、世界中の人が訪れる場所に生まれ変わる先例を私たちは(〈LLOVE HOUSE ONOMICHI〉)に見ることができます。だが、人と人が出会いいつどうきつかけは、何気なく過ごす日常のなかに生きつとある私たち尾道の山の上で時を超えて佇むこの家にそんな希望のようなものを見いだすことでき自分たちのよりよい未来を描くきっかけを得ることができるにちがいない。

国外からも 人の集まる 発信地

**ONOMICHI
HOTSPOT**

地域の人の思い出の地がつどい場所に



つどっている人たち

篠原テキスタイルとその仲間たち
篠原由起さん 篠原テキスタイル代表取締役社長
豊田晋也さん 篠原テキスタイルPR
西谷天さん 福山電業株式会社 マネージャー
松崎仁さん(株)アンネイム デザイナー
新谷まみさん 福山シティフットボールクラブ
塩出喬史さん Laughter Doughnuts店主

つどっている店

Laughter Doughnuts
福山駅にほど近い百貨店跡地に2022年にオープンしたi SETOUCHI内にお店を構える。本格的なアメリカンドーナツが人気のお店。
広島県福山市西町1-1-1
TEL: 090-4740-6039
営: 11:00-18:00 休: 水

絶品ドーナツを食べたあとには、 ここから街に繰り出すことも

福山市に拠点をおく老舗テキスタイルメーカー〈篠原テキスタイル〉5代目の篠原さんたちが集まるのは、JR福山駅前にある複合施設i SETOUCHI。いわゆる飲み屋が入居するような飲食街ではないが、老若男女が自然に集まる不思議な場所だ。

篠原テキスタイルは1907年に備後縫の手織業として創業。現在はデニム生地などを生産している。世界のハイブランドの受注から小ロットの受注にも対応する、デニム生産量日本一を誇る福山ならではの会社だ。近年は福山のシンボルであるバラの剪定枝や間伐材を再利用し、環境負荷の少ない織維を使ったデニム生地も手がける。

そんな篠原さんが二軒目として紹介してくれたのが〈Laughter Doughnuts〉。東京で人気の〈GOOD TOWN DOUGHNUTS〉が監修した、本格的なアメリカンドーナツが楽しめる。

「仕事でもプライベートでも駅前にある好立地で集まりやすいお店です。ミーティング後に街へ繰り出して飲みにいくこともあって、昼と夜をつなぐハブのような存在です」

仕事にサッカー、釣りやサウナ。 話の中心はいつも行ったり来たり

J1昇格を目指す地元の社会人サッカークラブ(福山シティFC)のオフィシャルデニムサポーターも務める〈篠原テキスタイル〉。だからいつも集まるメンバーとの話題の中心は〈福山シティFC〉の選手や試合について。

二軒目、どこ行く？

この街で生きる人は、日々どんな場所でつどい、何を楽しんでいるのでしょうか？



**ONOMICHI
DENIM SHOP**

広島県尾道市久保1-2-23
TEL: 0848-37-0398
営: 11:00-18:00 休: 火水



左から店長の元廣さん、鉄工所の井丸さん、酒屋の向さん

福山、尾道を含む備後地方は備後縫の産地として栄え、現在ではその技を使ってつくるデニムの生産量日本一を誇る。産地としての魅力を伝えるために2013年に始まったのが尾道で働く人に新品のデニムを提供し1年間はいて育ててもうことでリアルユースデニムをつり上げる「尾道デニムプロジェクト」。鉄工所、酒屋、塾講師など機械加工では出せないデニムの味を求めてお客様が訪れる。「サイクリングに来られた方が自転車屋さんが育てたデニムを買ってくださったり、思い出にと購入される方もいらっしゃいます。デニムがこの街をより深く知るきっかけになれば嬉しいです」とは店長の元廣さん。人々のストーリーが刻まれたデニムは、この街につどう人たちの思いをつなぎ育っていく。

LOG

広島県尾道市東土堂町11-12
TEL: 0848-24-6669
営: 施設によって異なる
休: 無休



尾道の山手に60年前に建てられた建物が世界中の人々が訪れる宿泊できる複合文化施設に生まれ変わったのは2018年。瀬戸内エリアの食材を使ったスイーツや料理、ドリンクを味わえるカフェ&バー、季節のコース料理を愉しむダイニングは宿泊者以外でも利用ができる。手漉きの和紙などの自然素材を取り入れた空間は、インドの建築家集団〈スタジオ・モンパイ・アーキテクツ〉と国内外の職人の手仕事によりつくり上げた。「この街の人々の親しみやすさや、尾道がもつ豊かな歴史を〈LOG〉でも表現したいと思っています」と支配人の小林紀子さんが話すように、この街の温かさに包まれるような居心地の良さに身も心も癒やされる空間だ。



「完璧な店」にしたいと思っていたから、その頃は僕、結構ギラギラしていたんですよ」と笑うのは、〈ヤマカメ〉の3代目店主・山本陽介さん。1946年創業の、街の写真屋さんを、現像・撮影・物販までマルチに行える店にするため、2012年に全面リニューアル。フルに加えてスタジオやギャラリーも併設し、写真展やポップアップイベントを実施。集客には、当時主流のコミュニケーションツールだったFacebookを活用した。「オンラインショップの台頭で、僕らのような小売店は打撃を受けた。そんな懐きインターネットの世界で、初めて手に入れた武器がSNSでした。

た。SNSで情報を発信することで、地元はもちろん、他県からも写真好きの若い層が訪れるようになり、新たなフェーズへと進むことができた。「僕のギラギラ感と、SNSの

シェアする、というキラキラ感がうまくハマった。山本さんは、2015年にInstagram

た。当時はそれなりに、理想の店に近づけたかなという感覚はありました。それでも時代の流れとともに、フィルム写真の市場は先細りしていく。SNSのトレンドも変化。そ

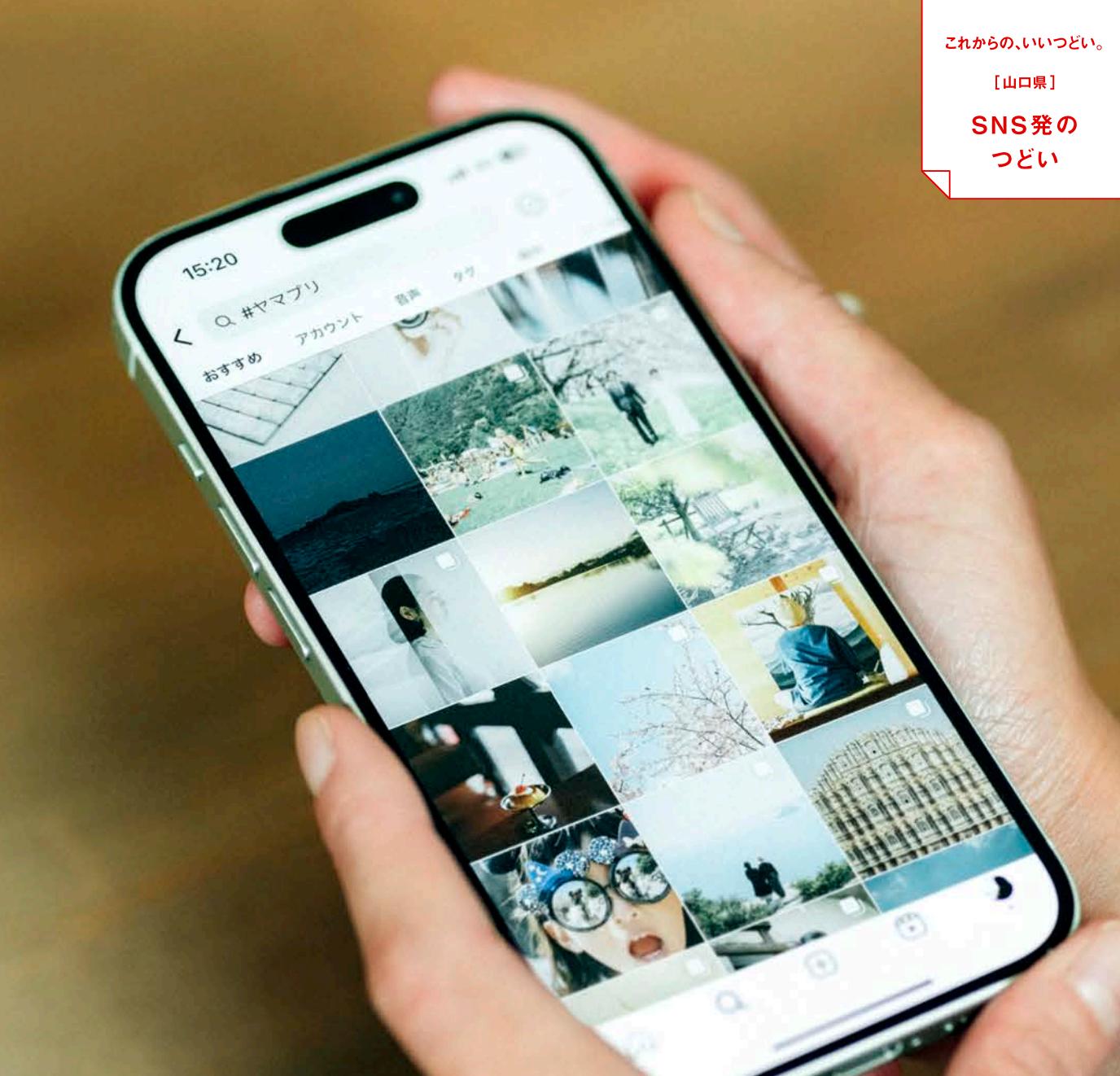


時代性を反映する コミュニケーション

転機となったのは、2つのInstagramの投稿だった。1つは、山本さんがアカウントを立ち上げて間もない頃のこと。写真家濱田英明さんの展示を〈ヤマカメ〉で行った縁で現像を依頼され、濱田さんがその時の写真を「ヤマカメで現像しました」というコメントとともにInstagramに投稿したことが予想外の反響を呼んだ。「僕のアカウントもタグ付けしてくださったんですけど、通知音が鳴りやまず、スマホの電源が落ちました(笑)」。フォロワー数は一気に増え、今では5・9万人に。

全国からの現像依頼も殺到し、多い時で日に数百ものフィルムが郵送で届くようになつた。もう1つの転機はあるお客様が「ヤマカメ」で現像した写真をアップする際に「#ヤマプリ」と付けたこと。そこから徐々に漫透し、写真好きの間でおなじみのハッシュタグとなつた。「その人の写真が素敵なおかげで『ここで現像すればこんなにいい感じになるんだ』と思ってもらえたし、フィルム写真の魅力を改めて伝えるきっかけにもなつた」と山本さん。スマートで簡単に写真が撮れる今、フィルムカメラの人気は再燃している。丁寧な手仕事を生み出せるフィルム写真コミュニケーションは、これからもしなやかに進化していくだろう。

#ヤマプリって?
Instagramで現像した写真をInstagramに投稿する際に使われるハッシュタグで、12万投稿超えの大規模写真コミュニティ。



Instagramで「#ヤマプリ」と検索すると、やさしい色合いに満ちたフィルム写真がずらりと出てくる。始まりは、宇部市にある〈山本写真機店(通称ヤマカメ)〉のお客さんが自身の投稿に付けたハッシュタグだった。地域に根ざした写真屋とSNSの化学反応から生まれた、新たなつどいのカタチ。

街の写真屋とSNS オンラインで 想像を超えるつどい

PHOTO_西山勲 TEXT_片桐絵都 EDIT_後藤麻与

何度でも見返したい！#ヤマプリ カメラロール

素敵なフィルム写真の代名詞である「#ヤマプリ」。さまざまなユーザーにリサーチし、その魅力を紐解く。

@ aimue / aimue_film

愛知・フォトグラファー
ヤマプリ歴：6年
利用頻度：月によってまちまち
愛用品：Canon EOS-1V、
Kodak Portra 400



濱田英明さんの写真が好きで、同じラボに依頼したいと思い、利用するようになりました。私は「まなざしフォト部」というオンラインの写真&育児のコミュニティを主宰する傍ら、自分の個展も開いていて、山本さんには展示をする際の画像データのことでの相談に乗ってもらったことがあります。写真に対してすごく真摯な方で、さらっと褒めてくださるやさしさも好きですね。私は自分の投稿に「#ヤマプリ」は付けていないのですが、このタグがあることいろいろな方のフィルム写真を参考にできて嬉しいです。



@ rie5296

広島・お母さん
ヤマプリ歴：3年
利用頻度：80本/年
愛用品：Canon EOS-1V、
Kodak Portra 400



憧れのフォトグラファーさんの影響で利用するようになりました。山本さんの出色と、人との繋がりを大切にされている人柄が好きです。何年経っても見返したくなるような写真に仕上げてくださいます。私は〈ヤマカメ〉で現像したぞ！という自己満足も込めて「#ヤマプリ」を付けて投稿しています(笑)。



@ _shography

高知・デザイナー
ヤマプリ歴：7年
利用頻度：5～15本/月
愛用品：Pentax 67II、
Kodak Portra 400

フィルムカメラを始めるきっかけをくれた友人が利用していたので、私もお願いするように。撮影時の環境やユーザー好みに合わせて丁寧にスキャンしてくださるので、イメージヒューリックに差異はありません。「#ヤマプリ」のコミュニティを通じて新しい友人できました。私の世界を広げてくれる大切な存在です。



@ Osamu_kurita

長野・理学療法士/写真家/詩人
ヤマプリ歴：7年
利用頻度：2本/月
愛用品：Pentax 67、
Kodak Portra 400

〈ヤマカメ〉のフィルターを通して全国のフィルムカメラユーザーとつながれるのが「#ヤマプリ」の魅力。海外の方からカメラや現像に関してDMで聞かれることがあるので、僕はクレジットとしてこのタグを付けています。山本さんは僕自身の視点の変化や家族の成長まで汲んで現像してくださるので信頼できます。



@ hiraco_film

三重・会社員
ヤマプリ歴：6年
利用頻度：5本/2～3ヶ月
愛用品：Pentax 67、
Kodak Portra 400



「#ヤマプリ」は、私もこんなふうに撮ってみたいなど、写真に対する意欲を上げてくれるコミュニティ。〈ヤマカメ〉にお願いすれば間違いないと言い切れるくらい、全幅の信頼を寄せています！たまに露出がめちゃくちゃな時もあると思うんですけど、いつも綺麗な色で自然に仕上げてくださって感謝です(笑)。



@ hamadahideaki

大阪・写真家
ヤマプリ歴：9年
利用頻度：月2回程度
愛用品：Pentax 67II、
Kodak Portra 400



@ isao_nishiyama

福岡・鎌倉・写真家
ヤマプリ歴：9年
利用頻度：300本/年
愛用品：
Hasselblad 500 CM、
Kodak Portra 400

いちサービスとしてではなく、いち個人として仕上がりのイメージを話せるのがありがたいです。色味や階調などの先にある部分まで深く詰められるので、一緒に画づくりをしているような感覚。山本さん自身が写真を撮る人だというのが大きいと思います。僕も〈ヤマカメ〉で展示をさせてもらったことがありますが、お店の空間や「#ヤマプリ」は好きなものを共有できる仲間が集まる場だということが伝わってきました。これが東京ではなく宇部にあるのが面白い。小さな街から生まれる独特的のパワーを感じます。

#ヤマプリ 魅力の真相

現像依頼は
全国各地から

写真好きの憧れの
存在で、頼むこと自体がステータス。

一般ユーザー
からプロまで

撮る人の目線に立
った仕上がりが幅
広い層を魅了。

リアルな交流
にも発展

写真の共有だけで
なく、感性の近い人
と出会える場に。

うちのテーマは
“最高のふつう”
なんです。



ブームから定番へ #ヤマプリのこれから

ましたが、岩手やフランス在住の方なども参加してくださって新鮮でした。

編集 最後に卒業作品を店内のギャラリーに展示するのも素敵ですね。

ヤマ 卒展は教室をスタートした時からずっと続けています。自分のためだけってやっぱり限界があって、人に見られるのも意識しないとつまらはない。

編集 オンラインで受講された方も、卒展では宇部に来られたんですか？

ヤマ フランスの方はさすがに無理だったけど他の方は来てくださいました。

編集 オンラインでの発信がリアルな交流につながる。「#ヤマプリ」のコミュニティとも通じるものがありますね。

ヤマ 色を崩した方がいいわゆる「エモい」感じにはなるんですよ。ただそれを10年経て見た時にどう思うか。写真って思い出のツールなので、「この時の自分若いな」とか「変な服やな」とか、そういうところを見るじゃないですか。その時に色がおかしいのは嫌だなって。

編集 当時はイケてると思っても、時代が変わると……。

ヤマ そうそう。写真に大事なのは時代性と普遍性。だからうちのテーマは、最高のふつうなんです。ふつうだけど今っぽさもある、綺麗な色を意識しています。

編集 「#ヤマプリ」が生まれたのは、どんなに便利になつても変わらないものがあることに、みんなが気づき始めたタイミングだったのかかもしれませんね。

ヤマ とはいえ新しいことにも挑戦しないと続いていかないので、今後は海外からの現像依頼も受けようかなっていうのと、実はいいサービスを思いついたんです。まだ言えないので、うちのインスタをこまめに見ておいてください(笑)。

編集 次がさすチェックします(笑)！

大事なのは時代性と普遍性

編集 山本さんが狙つて生まれたわけじゃないというのが「#ヤマプリ」というコミュニティの面白さだと思います。今の状況をどう感じますか？

ヤマ 現像の依頼が山ほど届くようになつて、お客様と話す時間もぼんやりなり、「あいつは変わってしまった」なんて言われたりもしましたけど(笑)、結果これがベストだつたんじゃないかなと思います。小さな写真屋が生き残るのは難しい時代ですから。

編集 この本人が思う、「ヤマカメ」が支持される理由とは？

ヤマ 1つは宇部という街にあることかな。仕上げの良し悪しは別として、郵送で送るワクワク感とか距離の遠さがある意味メリットになっている部分はあると思います。

編集 ユーザーさんからは、綺麗な色や雰

味のないクリア感が魅力だという声も多かつたです。

ヤマ 一色を崩した方がいいわゆる「エモい」感じにはなるんですよ。ただそれを10年経て見た時にどう思うか。写真って思い出のツールなので、「この時の自分若いな」とか「変な服やな」とか、そういうところを見るじゃないですか。その時に色がおかしいのは嫌だなって。

編集 当時はイケてると思っても、時代が変わると……。

ヤマ そうそう。写真に大事なのは時代性と普遍性。だからうちのテーマは、最高のふつうなんです。ふつうだけど今っぽさもある、綺麗な色を意識しています。

編集 「#ヤマプリ」が生まれたのは、どんなに便利になつても変わらないものがあることに、みんなが気づき始めたタイミングだったのかかもしれませんね。

ヤマ とはいえ新しいことにも挑戦しないと続いていかないので、今後は海外からの現像依頼も受けようかなっていうのと、実はいいサービスを思いついたんです。まだ言えないので、うちのインスタをこまめに見ておいてください(笑)。

編集 次がさすチェックします(笑)！

二軒目、どこ行く？

秋吉台から大学に戻る道中の
台湾料理屋がお決まり



つどっている人たち

山口大学洞穴研究会

鶴川和樹さん(左)、木谷幸平さん(中央)、狩野龍之介さん(手前右)
1955年設立。主な活動地域は秋吉台で、洞窟の調査・探検を行い、研究成果を発表することで、秋吉台の保全と地域文化の発展を目指している。洞窟のみを専門とする学生団体は全国的に珍しく、九州でも頻繁に活動。

つどっている店

台湾料理 ふじ苑

味良しコスパ良しの町中華。山大生を中心地域住民に愛され、全メニューが驚きのボリューム！ 店員さんのホスピタリティも◎。
山口県山口市白石 3-5-23
TEL : 083-924-9888
営：11:00 - 23:00 休：火

辛くてあつたかいものが食べなくなる

秋吉台での探索が終わり、汗だくで店に集合した山口大学洞穴研究会の部員たち。その名の通り、洞窟の調査・探検が主な活動内容で、手にはたいそうな装備を抱えている。私たちがイメージする洞窟は、あくまで観光用に整備された観光洞。全國に数ある洞窟の一部でしかなく、彼らは一般開放されていない洞窟にも入ることができる。穴の中は寒く陥しく、体温と体力が著しく奪われる。活動後はとにかくお腹が空く。メニュー表にかじりつき、「辛くてあつたかいのが食べたいんですよね。麻婆豆腐定食にしようかな」「僕、ラーメン定食にします」

「俺はこの前麻婆だったしな。あ、麻辣湯みんなで分けようよ」と、高カロリーな品々をチョイス。料理を待つ間も「この前見つかった新しい穴、ふつうに草むら探してたらあったらしいですよ。めちゃくちゃテンション上がりますよね」と、洞窟談義に花が咲く。

活動は体育会系なのにシャワーが使いづらい

活動は基本的に週3回。日々訓練を重ね、月に1回は必ず全員で洞窟に入る。穴の中は寒く陥しく、体温と体力が著しく奪われる。活動後はとにかくお腹が空く。メニュー表にかじりつき、「辛くてあつたかいのが食べたいんですよね。麻婆豆腐定食にしようかな」「僕、ラーメン定食にします」

「俺はこの前麻婆だったしな。あ、麻辣湯みんなで分けようよ」と、高カロリーな品々をチョイス。料理を待つ間も「この前見つかった新しい穴、ふつうに草むら探してたらあったらしいですよ。めちゃくちゃテンション上がりますよね」と、洞窟談義に花が咲く。

活動は体育会系なのにシャワーが使いづらい

活動は基本的に週3回。日々訓練を重ね、月に1回は必ず全員で洞窟に入る。穴の中は寒く陥しく、体温と体力が著しく奪われる。活動後はとにかくお腹が空く。メニュー表にかじりつき、「辛くてあつたかいのが食べたいんですよね。麻婆豆腐定食にしようかな」「僕、ラーメン定食にします」

この街で生きる人は、日々どんな場所でつどい、何を楽しんでいるのでしょうか？

三都それぞれ注目のコミュニティに密着取材しました。

味のないクリア感が魅力だという声も多かつたです。

ヤマ 一色を崩した方がいいわゆる「エモい」感じにはなるんですよ。ただそれを10年経て見た時にどう思うか。写真って思い出のツールなので、「この時の自分若いな」とか「変な服やな」とか、そういうところを見るじゃないですか。その時に色がおかしいのは嫌だなって。

編集 当時はイケてると思っても、時代が変わると……。

ヤマ そうそう。写真に大事なのは時代性と普遍性。だからうちのテーマは、最高のふつうなんです。ふつうだけど今っぽさもある、綺麗な色を意識しています。

編集 「#ヤマプリ」は現代の贖罪みたいな意味合いであります。SNSは手軽に思い出を記録していくけど、消費のイメージが強いですね。そこにフィルムのひと手間を組み合わせることで、ちょっと安心できるというか。録シニアできるけど、消費のイメージが強いですね。そこにはフィルムのひと手間を組み合わせることで、ちょっと安心できるというか。便利になつても変わらないものがあることに、みんなが気づき始めたタイミングだったのかかもしれませんね。



山本写真機店

山口県宇部市中央町1-9-15
TEL : 0836-31-5005
営：9:00 - 19:00 休：日・第1土

周年記念イベントでは全国からお客様が集結。



写真教室「cheeeeese!!」の卒展風景。



松田翔剛さん・有美さん
(30代・*JIBI*代表)

・夫婦ともにデザイナー
・(小屋場 只只)オーナーとの縁で大津島へ
・東京のデザイン事務所で出会い、2017年に翔剛さんが先に移住。結婚を機に有美さんも移住した
・現在の家は大家の厚意で自由に手を加えられるため、漆喰を塗るなどしてリノベーション

Instagram:
@jibi_shogomatsuta / @ymito_

圧迫感のない仕事部屋

仕事部屋は翔剛さん自ら天井を抜き、板を張った。「家の中で夫の頑張りが一番表れた場所です」(有美さん)

土間で心を切り替える

住空間と仕事部屋は土間で区切っている。「オン・オフを切り替えられる境界のようなもの」(翔剛さん)

寝室が家族のオアシス

寝室の床材は肌触りのいい和紙で、ベッドには天然素材の蚊帳を。「通称“オアシス”です(笑)」(翔剛さん)

日本の美しい文化をデザインの力で継承したい。東京のデザイン事務所で働く慌ただしい生活は、その思いとは逆行していた。喧騒を離れて新たな拠点に選んだのは、瀬戸内海に浮かぶ大津島(山口県周南市)。都会からいきなりやってきた若造を、島の人々はいつも気にかけてくれた。結婚を機に、好きに手を加えていいという魅力的な条件の空き家に移り住んだ。腱鞘炎になりながらも、嬉々として壁に漆喰を塗った。

採石で栄えた大津島。むき出しの岩肌が迫るかつての石切場は、人の手と自然が生み出した共生の美だ。島の文化を伝えるため、デザイン事務所と並行して一般社団法人を立ち上げた。地のものが味わえる食堂も運営している。伸びゆく草木を愛で、太陽と風の動きを肌で感じる。東京では気づかなかったこと。僕たちは生かされている。

For The Better

6月になると家の周りに自生する紫陽花が咲き乱れる。日々のちょっとした変化や季節の移ろいが、家族の生活を優しく彩る。



北九州

北九州銀行 赤坂門支店
和田未佑

私はこれで育ちました <源平うどん>の「肉うどん」

ぎっしりと敷き詰められた甘辛い牛肉に、福岡らしいやわやわの麺。ほんのり甘いお出汁がどこか懐かしい気持ちにさせてくれる一杯です。この街で育った私にとってはまさにソウルフード的な存在。まだ遠出ができるない学生の頃は、友達と遊んだ帰りに「ここしかないよね」と<源平うどん>で締めることが多かった(笑)。昔は何もない街だと思うこともありますが、家の外に安心できる場所があることがありがたさを、大人になった今しみじみと感じています。これからも変わらず街の一部としてあり続けてほしい、そんなお店です。

並850円(税込)
北九州市門司区畠 1271-1 TEL:093-481-3810
営:11:00~15:00 休:火水木

山口県



山口銀行 柳井支店
木村結

はやい・やすい・うまいだけじゃない <立喰いうどん 辰屋>の「月見うどん」

横川駅前のアーケードにひそりと佇む、わずか6畳ほどの小さな立ち食いうどん屋。あっさりだけど出汁の利いたつゆと細めの麺が好相性。特に「月見うどん」は飽きのこないシンプルさが魅力で月1は食べています。地元の社長さんも常連だと聞きますが、その理由は、一杯390円からという手頃さ、提供までのスピードといった利便性だけじゃないと思うんです。店主の「おにぎりける?」「天かす入れといといたよ」とか何気ないけれども温度のある接客に不思議と心も満たされる。食べ終わる頃には、午後も頑張ろうという気持ちになるのが<辰屋>なんです。

500円(税込)
広島市西区横川町 3-2-21 TEL:082-293-2961
営:6:30~19:00(金土のみ24:00まで営業) 休:不定休

広島県



もみじ銀行 三篠支店
松下元

一度食べたらリピート必須 <うどんの釜屋 柳井店>の 「肉ごぼう天うどん」

創業40年を迎える<うどんの釜屋>は、連日行列が切れないほど人気のお店。注文を受けてから釜揚げするもちもちの自家製平打ち麺は、醤油ベースの甘くて濃いお出汁を絡めていただきます。なかでも揚げたてサクサクのごぼう天と、味の染みた牛肉の相性が抜群の「肉ごぼう天うどん」は、我が街自慢の一品です。うどんだけで十分お腹いっぱいのはずなのに、ついついサイドメニューの稲荷寿司に手が伸びるのがいつも不思議(笑)。カウンターの向かいにお座敷があるのも嬉しい、仕事終わりに会社の人と一杯やるのが私たちの定番です。

860円(税込)
柳井市南町7-2-5 TEL:0820-23-3141
営:11:00~20:00 休:日

あしたのランチ何食べる?
What will you have for lunch tomorrow?

ラブレター from

新宿ゴールデン街

広島の呉が祖父の出身地である。東京で生まれ育ち、その実家も母の死後に売却してしまった身からすると、唯一の細い系でもって故郷と呼べるところが僕にとっての広島である。祖父の生家に祖父母と母の墓があるので、年に一回は帰るのが僕のお盆の常である。その生家も誰も使っておらず、朽ちているのが悩みであるが、ちなみに祖父は大正14年生まれで、『この世界の片隅に』の主人公すずとほぼ同い年で、祖父のエッセイも当時の時代資料として参考に挙げてもらっている。

さて、いつも行く時は、前夜に広島市内で飲んで食べて、次の日に呉へ行くのが大筋。市内は特に予定も立てずに巡るので、〈そらや〉(hanawine)〈ボルコ〉辺りを適当にお邪魔している。あ、ビールの名店〈重富〉もありましたね。〈ホームラン食堂〉(店舗は閉まってしまった)には、甚く感動したのを覚えている。美味しい朝ごはんは夜型の僕すら朝が楽しみになる。あとは、ちょっと遠いけれど、〈STLAB〉。店主ハニくんの料理や世界観には東京にもない新しさや発見がある。さらには、グアテマラ出身の店主がいるお好み焼き〈LOPEZ〉やビールとたこ焼きしかないスナック居抜き〈さとう〉、なんて変わったお店も面白い。そして、〈がんちゃん〉で鉄板で焼いたボテサラを食べるのがいつもの〆になる。

去年伺ったとき、まずは〈hanawine〉辺りで最初に情報収集していると、最近できた〈ワインハウスマコ〉というお店が面白いとか聞いたので行ってみた。したら、あの〈煮込みやなりた〉でソムリエをしていたマコさんのお店であった!あの懐ただしいお店で動き回っていたマコさんが、新天地では笑顔で朗らかで、いいお店を開いたなあと温かい気持ちになり、2日も連続で通ってしまった。



教えてくれた人

田中開 (たなか・かい)

1991年、ドイツ生まれ。東京都育ち。祖父に直木賞作家の田中小実昌を持つ。22歳の頃に母親の遺産を引き継ぎ、新宿ゴールデン街にレモンサワー専門店〈OPEN BOOK〉をオープン。以降、新宿御苑の〈OPEN BOOK 破〉、日本橋のホテル内に〈Bar Ao〉も経営。著書に『酔っ払いは二度お会計する』(産業編集センター)。
Instagram: @goldenkai42

「広島の酒場は、働く人をも笑顔にさせる」



〈そらや〉

14時からオープンの地酒や魚料理を提供する立ち飲み酒場。
Instagram: @kamichosora



〈hanawine〉

広島県の元祖ナチュラルワインバー。グラス一杯からでも楽しめる。
Instagram: @hanawine_hiroshima



〈ワインハウスマコ〉

広島出身の店主が東京で修業した後にオープンしたビストロ。
Instagram: @wine_house_mako

KITAKYUSHU 《c'e c'e candle》

HIROSHIMA 《YOSUI》



candle stand
《YOSUI》
Instagram: @yosuitsuji



Candle b | Candle a · b · c · d
《RHINES》
福岡県北九州市八幡西区藤田 2-5-4

YAMAGUCHI 《kokoroe.》



ウッドウェイクのキャンドル | ボタニカルキャンドル
《kokoroe.》
山口県山口市阿知須 6083-1

三都の 雑貨物語

肌寒さを感じ始めると、アレが恋しくなりますよね。そう、キャンドルです。デザインも香りもさまざまで、ひとび火を灯せば、いつものおうち時間が非日常に早変わり。三都でも、そんなドラマティックな灯りに出会えます。福岡市在住のキャンドル作家・徳永裕二さんがつくる《c'e c'e candle》は、オブジェのようなマーブルカラーのキャンドル。精油の香りが心地よく、煤の少ないソイワックスを使うことでCO₂の排出量を減らしています。山口市にある《kokoroe.》は、古川愛さんが営むドライフラワーとキャンドルの専門店。ボタニカルキャンドルはどれも一点物で、新鮮なまま加工された色鮮やかなドライフラワーを使用。火を灯した時に浮かび上がる姿の美しさまで考えられています。オーダーメイドブランド《YOSUI》のキャンドルスタンドは、広島市をメインに活動する金属造形家・辻陽祐さんが手かけたもの。モダンで洗練された造形美と、独自の焼き付け塗装による侘び寂び感に心を奪われます。そういえば、民俗学の父・柳田国男が著書『火の昔』で、家族で囲炉裏を囲むとお互いの顔がよく見える。やっぱり一家団欒はこうでなくっちゃ』みたいなことを書いていたつけ。灯りとは、人をつなぐもの。さあ、今夜はどんなキャンドルに火を灯そう?

「三都の雑貨物語」では、毎号ひとつのテーマに沿って集めたものと、それにまつわるエピソードをご紹介。過去のものも公式Instagramにあります。@ymfg_official

N° 03

ゆらり、ゆらめく
灯りに魅せられて



Candle a | Candle b
《c'e c'e candle》
《YOSUI》

03 橋本幸治シェフが手がける、アートな仕掛けとは

YMFG初のコラボ店舗として山口県長門市で生まれた〈Diningbar Zen〉は、2024年3月に創作フレンチ〈Art & Restaurant Zen〉として新たなスタートを切った。前オーナーの〈株式会社百姓庵〉は、「地産地消を通じた地域活性化」という思いを託す相手を探すなかで、地元山口県萩市でレストランパーティエをしていた橋本幸治シェフと出会い、両者の思いが一致したことでき事業継承が実現。「アートの要素も加わり地域との接続点が増えた。さらなる地域活性化に株式会社つなげたい」(辻野)



辻野拓也
山口FG 営業戦略部

Art & Restaurant Zen

山口県長門市油谷新別名960-4

TEL: 050-8883-2694

営業時間: 10:00 - 16:00 休日: 水木

Instagram: @art.and.restaurant.zen



パティシエ出身の橋本シェフによる、見た目も鮮やかなスイーツも人気。

ランチ・カフェ・ディナーいずれのシーンも、地元の恵みを存分に活かした創作料理を提供。

店内には県内アーティストの作品を展示。元金庫室はラグジュアリーな客室に一変させた。

「私の働き方」

VOL.2



山内 健
山口FG 人財支援部

山口県周南市出身。2017年入社。2023年12月に第一子が誕生。1月と7月に計35日間の育休を取得。趣味は読書と筋トレ。

もともと子どもときちんと向き合う時間は取りたいと思っていたので、会社の育休説明会に参加するなど準備は進めていましたが、生後1ヶ月は妻が里帰りしていたこともあり土日だけ一緒に過ごす生活を送っていました。そんな矢先、いつも明るい妻がかつてないほど精神的に参っていることに気づき、急いで育休を申請。休暇に入って実感したのは「寝られない」という現実です。この期間がなければ、昼夜を問わざつつきりで子どもの面倒を見続ける過酷さを、身をもって知ることができなかったと思います。

そんな僕らを支えてくれたのは家族や会社はもちろん、街のNPO法人の存在も大きかったです。泣きやまない、便秘気味など、些細だけど親としては大きな不安に対して、

元保育士さんやママ友に気軽に相談できることは心の支えにもなりました。

子どもが生まれてから生活リズムは一変。19時に帰宅し、21時には子どもと一緒に寝て、朝4時に起きる日々です。子育ては一大プロジェクトなので大変ですが、やはり息子は愛おしいですし、これからも成長の一瞬一瞬にきちんと向き合いたい。とはいってもキャリアアップも目指したいので、引き続き仕事と家庭のバランスが取れた働き方を模索していきたいです。

【育休制度】

育児休暇・産後パパ育休・育児休業の3つを組み合わせて取得が可能。男女ともに取得率は100%。

「まずは育児のリアルを知ることから。」

公式 Instagram 開設!

01

前例のない連携で、街を動かす。周南市に新チームが誕生

YMFGが運営する女子ハンドボールチーム〈山口銀行 YMGUTS〉は、周南公立大学および西京銀行の女子バドミントンチーム〈ACT SAIKYO〉と手を組み、「スポーツの力で地域活性化」プロジェクトを始動。3者の連携により、これまで個別に取り組んできた「街の賑わい創出」や「地域コミュニティの形成」の促進が期待されている。さらに、周南公立大学が中心となり、部活動の地域移行に伴う指導者不足の課題にアプローチする施策も進行中。11月16日には湯野小学校・湯野温泉で3者合同の地域交流イベントを開催予定。詳細は「YMFGスポーツの力」で検索。



9月14日には徳山駅2階で3社合同のイベントを開催。

地域とつながり山口県をもっと元気にしたい。
(岡田あづさ選手)

大好きな街に貢献できて嬉しい。
(大澤陽奈選手)

地域の方々と連携して街を盛り上げたい。
(谷本芽依さん)

02

YMFGさん、どうして「女性の活躍」を目指すのですか?

YMFGは2023年から女性社員限定のイベント「YMFG Women's Day」を開催している。多様な人財を掲げる一方で、「女性」に限定する理由とは。今さら聞けない質問をぶつけてみた。



林田あゆみ
YMFG 人財支援部
人事グループ



進 茗子
YMFG 人財支援部
人事グループ

Q そもそもなぜ「多様な人財」が必要なのですか?

新たな価値を創造するためには、異なる要素の掛け合わせが必要だからです。社会全体が大きな転換期にある今、私たち金融も一層創造性が求められています。多様な価値観に耳を傾けることで、お客様への提案の幅も広がると考えています。

Q 「YMFG Women's Day」では何をしているんですか?

メインは各自のキャリアビジョンワークと、それを基にした役員との対話です。特に対話は、社員のモチベーション向上につながりますし、役員にとっても女性社員の意欲やリアルな課題を把握する機会となり、組織に良い循環をもたらすと考えています。

Q なぜ女性限定のプログラムが多いのですか?

当社の約半数を占める女性の活躍は、組織の成長に不可欠です。属性によってキャリアの選択の幅が狭められない環境をめざし、男女で異なってきたキャリアパスとキャリア観のギャップを解消するため、まずは女性向けにプログラムを実施しています。

Q 社員一人ひとりが意識すべきことは何ですか?

本当に実現したいキャリアや求められる役割は何かを考えてみます。言語化すると、より具体的にイメージできるようになると思います。そして実現に向けて何が必要か主体的に考え行動してほしいと思います。私たちもみなさんが力を最大限に発揮できるよう全力でサポートします。

それは美しく、優しく、落下する。



300年変わらない線香花火の原形、ワラスポ
筒井時正玩具花火製造所
「西の線香花火 スポ手牡丹」

特徴 火玉が大きく火花が四段階に変化
入り数 15本（1箱当たり）
商品寸法 160×30×13 mm
価格 ¥880（税込）